

# 算数科学習指導案

大古小学校 住田 裕子

日時 令和4年6月24日(金)

学年 第5学年 26名

単元名 小数のわり算

単元の目標

- ・ 除数が小数である場合の小数の除法の意味について理解する。 A (3) ア (ア)
- ・ 小数の除法の計算ができる。また、余りの大きさについて理解する。 A (3) ア (イ)
- ・ 小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。 A (3) ア (ウ)
- ・ 除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味をとらえ直すとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりする。 A (3) イ (ア)

単元計画 (児童配布物)

6月5週～7月2週 ☆はじめの説明あり ▲説明課題あり △友達と確認

算数単元「小数のわり算」( )

実施	時	教科書のページ	めあて	たしかめ
/	1	P80～P82☆▲	整数÷小数の計算の仕方を考えよう	
/	2	P83	整数÷小数の筆算の仕方考えよう。	ド30, プ18
/	3	P84～P85☆▲	小数÷小数の計算の仕方考えよう。	ド31, プ19
/	4	P86▲	わる数の大きさと商の大きさを調べよう。	ド32
/	5	P87☆△	わり進める計算を練習しよう。	ド33
/	6	P88☆	小数第2位同士のわり算の筆算の仕方考えよう。	ド34, プ20
/	7	P89△	商をがい数でもとめよう。	ド35
/	8	P90☆▲	小数のわり算のあまりについて考えよう。	ド36, プ21
/	9	P91～92☆	単位量あたりの大きさを使って、問題の意味をとらえよう。	ド37, プ22
/	10	P93	練習問題をして理解を深めよう。	ド38, プ23
/	11	P94 ノート提出	練習問題をして理解を深めよう。	ド39

本時について (1時目/全11時間)

(1) 本時の目標

- ・ (整数) ÷ (小数) の計算のしかたを考えたり理解したりする。

(2) 本時の展開

<p style="text-align: center;">学習活動と予想される児童の反応（・）</p>	<p>留意点と支援（◇） 見取りと働きかけ（○） 評価（◎）</p>
<p>1 問題場면을説明し、1.8Lで360円のジュースの1Lあたりの値段を求める式を立てる。【一斉】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1Lあたりの値段を求めるから、単位量あたりの大きさを求める。</li> <li>・4マス図をかいて、数量の関係をつかもう。</li> <li>・1Lあたりの値段を求めるには、<math>360 \div 1.8</math>をすればいい。</li> <li>・もし、1で割ったら答えは360円、2で割ったら180円だから、180円よりは高いね。</li> </ul>	<p>◇1の活動は10分以内に終わるようにする。</p> <p>◇4マス図をかいて数量の関係を把握し単位量あたりの大きさを求める式に帰着させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>整数÷小数の計算の仕方を考えよう。</p> </div>	
<p>2 計算方法の見通しを立て、そのあとで、ひろとさんの考えとななみさんの考えを理解し、自分たちの考えとの違いを説明する。【個別・協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のかけ算の時のように、10倍して整数に直せばいいのではないか。</li> <li>・<u>小数を10倍して計算して、その後10で割って戻さないといけない。</u></li> <li>・<math>360 \div (1.8 \times 10) \div 10 = 2</math>? 1Lあたり2円はおかしい。</li> </ul>	<p>◇かけ算の時には、10倍して小数を整数にして答えを出し、後から10で割って戻す方法をしたので、それとの混同を避けるために、答えの見積もりをさせておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>ひろとさんの考え</b></p> <p>1.8Lは0.1Lの18個分だから、 0.1Lのねだん <math>360 \div 18 = 20</math> (円) 0.1Lの10倍が1Lのねだんだから、 1Lのねだん <math>20 \times 10 = 200</math> (円)</p> <p><b>ななみさんの考え</b></p> <p>1.8Lの10倍の量のジュースを買うと、ねだんも10倍になります。だから、わり算のきまりを使って、</p> <p>1.8L買ったときの1Lのねだん <math>360 \div 1.8 = 200</math> (円) 10倍 ↓ ↓ 10倍 1.8L買ったときの1Lのねだん <math>3600 \div 18 = 200</math> (円)</p> </div>	<p>◇説明後のホワイトボードは黒板に貼り、他の児童が見られるようにする。また、理解が難しい児童には、他の児童が説明するのを聞いておくことを勧める。</p> <p>○ななみの考えの <math>3600 \div 180</math> は何を求めようとしているのかを問い、<math>360 \div 1.8</math> と同じく1Lあたりの値段であることを引き出す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろとさんは「0.1L」のいくつ分かを考えているから、小数のかけ算の時と同じだけれど、0.1Lが20円だから、1Lあたりの値段はその10倍で200円だ。</li> <li>・ななみさんは、1.8Lを10倍して18Lとしたけど、そうしたら値段も10倍になるから360円を3600円にしてわり算している。</li> <li>・整数を小数で割る時には、<u>割る方の小数を10倍したら割られる整数の方も10倍しなければならないのだな。</u></li> </ul>	<p>○「わり算のきまりを使って」の「わり算のきまり」が何を指すのかを明確にさせる。</p> <p>◎整数÷小数の計算の仕方を理解しているか。</p> <p>○定着が心配な児童は、類題の解答を確かめる。</p>
<p>3 教科書の整数÷小数の類題を解き確かめる。【個別】</p>	
<p>4 本時のまとめと自己評価をする（Chromebookで振り返りシートを送信）。【個別】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整数÷小数の計算は、割る数、割られる数の両方を10倍して整数にして計算する。</li> </ul>	<p>◇本時の課題が終わった児童は、次時の課題に進む。</p>